



### 田中町の子どもたちが 50年間も清掃奉仕

田中町の子ども会は、毎週日曜日に神社や遊園地の掃じを行なって、住みよい町づくりに協力しています。この清掃は50年近くも続いて、田中町の子どもたちから子どもたちに引きつがれてきました。最初に清掃をはじめた子どもたちが、いまではおじいちゃんおばあちゃんになって、まごが掃じに来ている家もあります。

そこで、これからも住みよい町づくりに協力してくださいと、10月16日子ども会に教育長から表彰状市長から感謝状が贈られました。



### 日ごろの成果を発表 小中学校の音楽発表会

第7回小中学校音楽発表会をさきごろ吉原市民会館と富士文化センターで行ないました。各学校から57チームが参加して、合唱や吹奏楽などに日ごろの成果を発表しあいました

**わたしの作品**

田子小四  
相沢彩恵子

# 金力

南中一年  
遠藤智子

# 美祭典の

〔評〕用紙いっぱいのにびのびと書け、まとまりのあるよい作品です  
(青木臨川)

〔評〕力強い堂々とした作品で申し分ありませんが、「の」の終筆が流れすぎています。  
(青木臨川)

### 公害の中の学校

今泉小学校6年 鈴木一雅



工場の工場、エン トツ、アパート、こんな近代的な物に囲まれたなかに、ぽつんとひとつの古い建物がある。それが今泉小学校だ。立派な50万プール、200万のトラック、古くとも立派な小学校である。

今泉には、まだ自満できるものがある。それは市立図書館だ。修学旅

行のしおりをつくる時にも、学校の帰りによっていけば簡単に調べられてしまう。

しかし、この今泉は、施設にめぐまれただけでなく、なぜか公害にもめぐまれてしまった。

学校にも少しずつ緑がふえてきた市から送られたくすの木記念樹、PTAの人々の植樹や手入れで、美しくなっている。また、川のふちか

らは、わき水が出るようになった。フナも泳ぎ、メダカも群れをなして泳ぐようになった。でも空気だけは相変わらずきれいにならない。

夜になると鼻をいじめるようにただよってくるにおい、物がくさってこげたようなにおい、なんとかならないだろうか。鼻をつくにおいがただよってくると頭痛におそわれる。このにおいさえなくなってくれば住みよい、美しい今泉地区になると思う。

